

PATA 本部『東日本大震災に関するポータルサイト』にて最新情報提供中

この度の「東日本大震災」により、被災された皆様に対して改めて心からお見舞いを申し上げます。PATA 日本支部では、PATA 本部及び海外メディアへの最新情報の提供に努めると同時に、各国支部からの問い合わせに関する対応にも追われております。

そうした中、PATA 本部でもウェブ上に「東日本大震災に関するポータルサイト」を立ち上げ、このサイトを通じて 22,000 の PATA 会員に情報提供を行っています。それと同時に、日本の国際観光を早急に復興させねば、アジア太平洋観光業界全体に悪影響を与えるとの合意の結果、今後、『PATA 復興タスクフォース』を立ち上げる事となりました。

また、PATA Foundation (PATA 基金) が呼び掛けを行っている「日本救済基金」には、PATA ニューヨーク支部、PATA オレンジカウンティ支部などを始め、各支部から募金が寄せられており、最終的な用途については本部との協議を通じて決定する予定です。

その他、震災及び福島原発の影響に関するニュースなども、PATA 本部ウェブサイトにて随時掲載しています。以下は、国連が日本は安全圏内であると発表したニュースです。(4月18日配信)

PATA 日本支部としましては、今後も PATA 本部及び海外メディアに対し、正しい情報を迅速に伝えていきたいと思っておりますので、関係機関の方も御協力のほど宜しくお願い申し上げます。

UN assures radiation levels in Japan are within safe limit

Posted: Mon 18 Apr, 2011 10:15 AM



United Nations organizations ensure that radiation from the Fukushima Daiichi plant do not pose health or transportation risk to passengers and crew that are travelling to and from Japan.

The United Nations organisation that are closely monitoring the situation on the Fukushima Daiichi plant include the World Health

Organization (WHO), the International Atomic Energy Agency (IAEA), United Nations World Tourism Organization (UNWTO), World Meteorological Organization (WMO), International Maritime Organization (IMO), International Civil Aviation Organization (ICAO), and International Labour Organization (ILO). On March 18, based on the International Nuclear and Radiological Event Scale (INES), the Japanese Ministry of Economy, Trade and Industry assessed the safety significance rating of the accident at the plant as level 5, as reported in *eTurbo News*. On April 12, the assessment was revised to level 7.

Airports and Seaports in Japan are being monitored for radiation. Reports have shown that levels remain well within the safe limits and therefore do not pose any health risks. Radiation screening at airports and seaports around the world are deemed unnecessary.

PATA60周年記念総会（北京）報告

1951年にPATAがハワイで誕生してから今年で60周年を迎え、その記念すべき60周年総会が、4月9日から12日まで、北京のチャイナ・ワールド・ホテルにて開催され、世界各国から約1000名の会員と120名のメディアが参加を得て成功裡に終了いたしました。PATA設立当初のオリジナルメンバーでもある日本（当時加盟は8カ国、現在は40カ国）としては、日本からのデリゲート・ミッションとしての参加も検討していましたが、東日本大震災の影響もあり参加者の募集が困難となり、今回は前PATA日本支部会長（現、PATA終身会員、PATA日本支部名誉顧問）の石樽信孝氏に代表して御参加頂きました。また、観光庁からは溝畑長官を始め、国際交流推進課外客誘致室の勝又室長、国際交流推進課の新井係長にもご参加頂き、震災を受けた日本の国際観光の復興につき発信する良い機会となりました。特に、この大変な時期に日本から観光庁長官が来てくれたということで、各国VIPからも感謝の意が評され、日本が国際観光で果たす役割は大変重要であり、今後も各国が協力して日本の観光復興を支援していきたいとの暖かい激励の言葉も頂きました。なお、総会に先立ち開催されたPATA本部理事会の冒頭挨拶として、石樽氏から以下のメッセージが読み上げられました

11 March 2011 is a day we shall not forget.

A massive earthquake and Tsunami struck the Northeastern region of this beautiful country, causing catastrophic damage and a loss of many precious lives and properties, a tragedy we had hoped would never happen. Sad as we are, we can only look to the future and carry on as strong as ever.

The devastating disaster has had an enormous impact also on Japan's inbound tourism.

While many areas in Japan remained unaffected by the disaster, they are also suffering from the sudden decrease in international visitors, caused by harmful rumours or misinformation. We should provide timely information on the current situation to the travel industry and to the public.

We are deeply concerned that this will not only affect Japan's tourism industry directly, but also will have a very negative impact on our industry partners in the Pacific Asia and around the world.

In this time of crisis, we have a role to play by providing those people and corporations affected moral and financial support to recover from the tragedy as soon as possible, and to rebuild natural, historical, cultural and social assets and properties for travel and tourism gradually, although it might well take months or years.

Warm words and kind thoughts have been received from all over the world. Relief supplies, financial donations and rescue teams keep pouring in. We cannot say how much we are encouraged and inspired by the goodwill. We can only say Arigato or thank you.

There is a long road ahead, but we will just carry on.

Your continued support, cooperation and guidance would be highly appreciated.

Thank you very much indeed again, and Arigato.

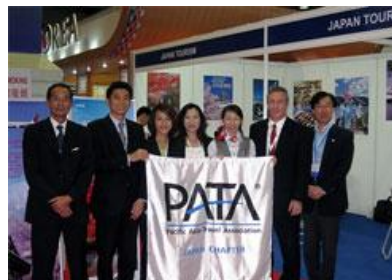
PATA トラベルマート2011 (インド・ニューデリー)

～ 締め切りは、6月30日です!～

第34回目を数えるPATAトラベルマート (PTM) が、9月6日 (火)～9日 (金) まで、インドのニューデリーにて開催されます。バイヤー/セラー合わせて 1,300 名以上が参加する本トラベルマートに、現在、セラー及びホステッドバイヤーを募集中です。アジア、アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアなど、世界各国より有力バイヤーが集うこのトラベルマートへの参加を是非ご検討下さい。ブース登録料並びにホステッドバイヤーの条件等は以下の通りです。

1. <ブース・セラー 登録料> 開催期間を通して、約 38 の商談が行なわれます。

登録料	PATA 本部会員	日本支部会員	PATA 非会員
スペース(9 sqm)	US\$2,000	US\$2,200	US\$2,400
スペース(18 sqm)	US\$3,400	US\$3,800	US\$4,200
セラー登録料	1 人目：無料 2 人目：US\$450	1 人目：US\$450 2 人目：US\$500	1 人目：US\$500 2 人目：US\$550



- 登録料：US\$200
(通常は US\$550/本部会員、US\$650/日本支部会員、US\$750/本部非会員)
- 東京 (もしくは大阪) からインドまでの無料航空券の提供 (エア・インディア航空予定)
- 5泊分ホテル宿泊提供 ・空港送迎
- インド政府観光局主催のプレ・ポストツアー、すべてのレセプションへの参加。

なお、上記の特典を受けるためには、以下の条件が必要となります。

1. 会期中の38商談のビジネス・アポイントメントに関するリクエスト・フォームを2011年6月30日 (木) までに提出し、会期中全ての商談をこなすこと。
2. 9月7日 (水) に予定されているバイヤー・セラー朝食ミーティングへの参加。

新会員のご紹介

株式会社 エヌオーイー

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-23-1 住友不動産神田ビル 2 号館

代表者： 代表取締役 林田 建夫

PATA 担当者：外国人旅行推進課マネージャー 池田 昭一

TEL: 03-3254-7505 Fax 03-3254-7515 URL : <http://cfive.noe-j.co.jp>

国際観光政策研究所

〒533-0002 大阪市東淀川区北江口 4-15-12

代表者: 代表 鳥井 信宏

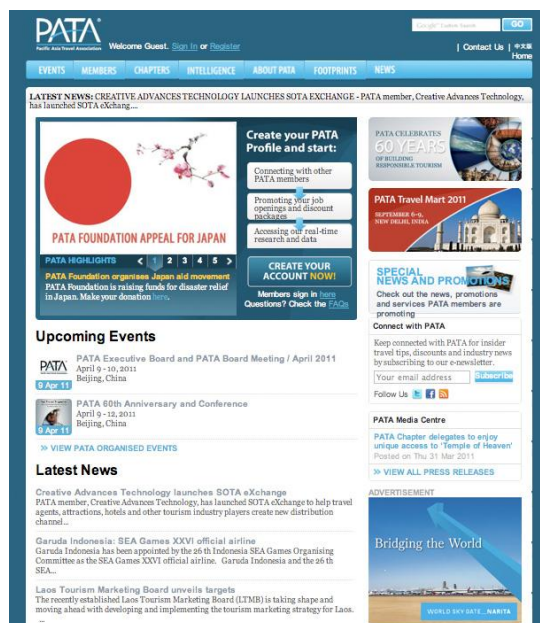
PATA 担当者: 上席コンサルタント 吉田 匡弘

TEL 06-7494-1024 FAX 06-7494-468

PATA 日本支部総会のお知らせ

本年度 PATA 日本支部総会を、6 月 6 日（月）もしくは 6 月 7 日（火）に開催する予定です。詳細が決定次第、ご案内をお送りさせていただきますので、宜しくお願い申し上げます。

成田国際空港株式会社のバナー広告掲載について



成田国際空港株式会社からの依頼により、PATA 本部ウェブサイトと日本支部ウェブサイトのトップページにバナー広告を掲載いたしました。バナーをクリックすると、成田国際空港からのメッセージ、及び成田空港の最新情報が表示されるようになっています。（英語の標記）